

## 研究実施のお知らせ

研究課題名: 回腸導管造設患者の術後のボディイメージの需要に影響を与える身体的、精神的侵襲における看護について

研究期間: 令和6年7月10日～令和7年1月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。日本看護協会が制定した「看護研究における倫理指針」に基づき、匿名化された既存資料・情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の対象となる方】

令和6年2月～3月の間に当院泌尿器科において回腸導管造設術を受けられた方

### 【研究の目的と意義】

回腸導管造設において、ボディイメージの受容には身体的、精神的安定があつてこそ受容が成り立つと考えます。術後の心身の侵襲とストマの需要の関係性について分析することで、看護師としてどのように関わっていくか明確にし、今後の看護に貢献し、患者様の苦痛軽減に努めていきたいと考えております。

### 【研究の方法】

診療録を用い、後方視的に診療録に記録された診療情報(看護記録、検査データ)をもとに記述的研究にて考察していきます。

### 【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報(看護記録、鎮痛薬、制吐薬使用回数)を研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

### 【研究の実施体制】

当院で後方視的に診療記録、看護記録の考察を行います

今回の研究では診療記録、看護記録から得られる必要な情報を利用させていただきたいと考えております。このような情報を提供したくないとお考えの方は、以下の問合せ先へ遠慮なくご連絡ください。また、この研究に協力しないことによって当院での診療・治療において不利益を被ることは一切ございません

### 【問合せ先】

仙台市立病院 5階東病棟

代表 022-308-7111(内線) 3351

研究責任者 看護師長 西條 満恵

研究担当者 深見 和佳